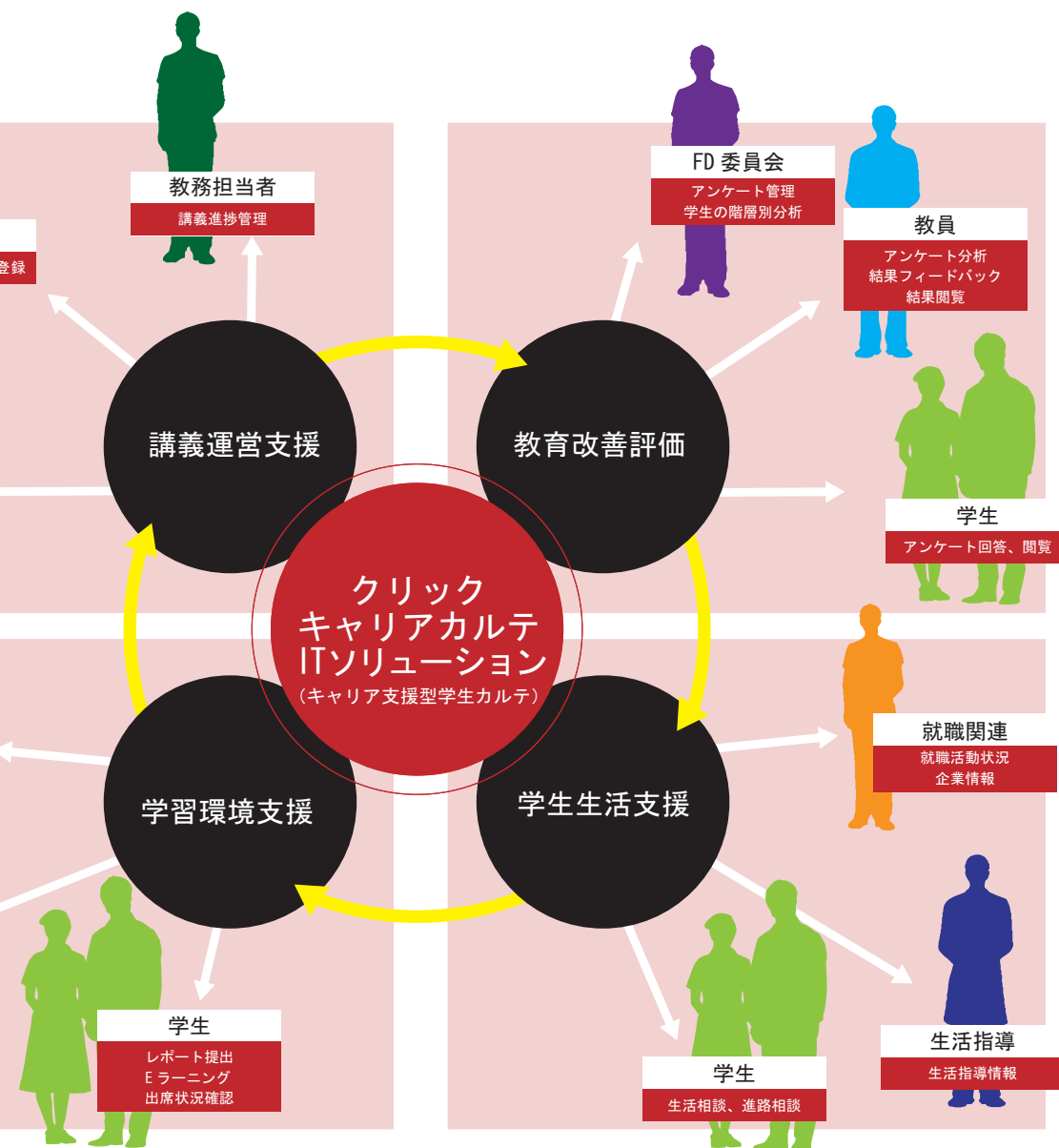


クリックが提案する

キャリアカルテ ITソリューション



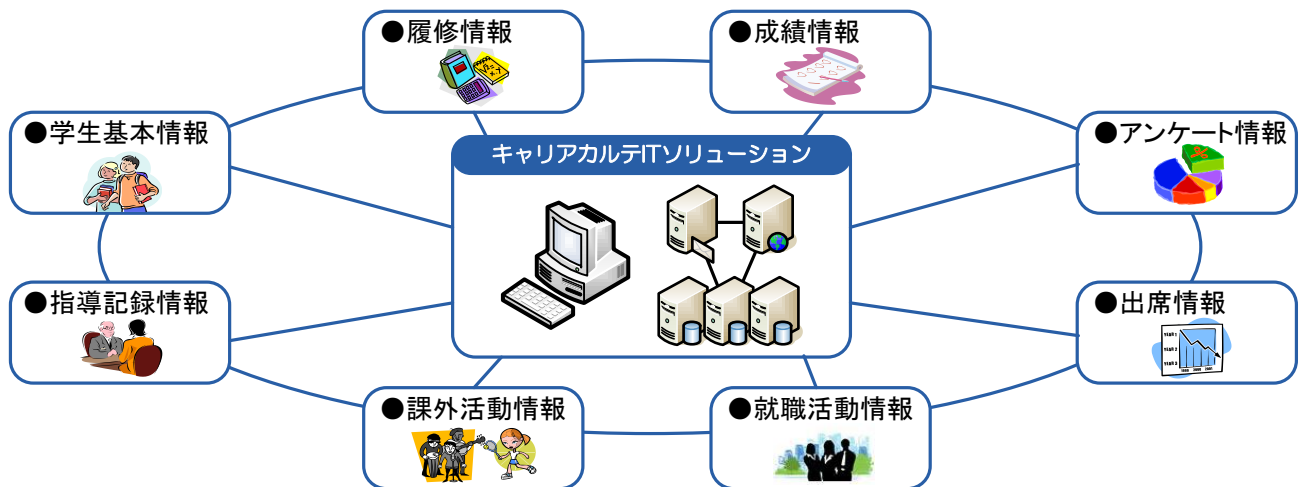
全学的な情報共有からの
一貫性のある学生指導を
強力にバックアップします！

学生情報の集約による学生状況の現状把握から、教職員の指導力を向上させ、一貫、連動した全学的な指導を生み出す

今までそれぞれの部門単位で蓄積していた情報を統合・融合させ、教育現場で有効活用できるサービスです。学生の学習情報や履修情報、生活情報、進路情報まで、さまざまな情報を一元管理し、「全学的な情報共有化」および「情報の可視化」をサポートすることで、活用度の高いキャリアカルテの運用を実現します。

教職員の皆様が個々に把握していた情報を共有化することは、学生個々に対する全学的な状況把握を促進し、指導を要する学生の早期発見を可能にします。学生個々の特性や生活状況、履修状況を踏まえた指導は、学生のキャリア意識を高め、画一的でない学生個々のための教育指導に効果があります。

もちろん新しくシステムを開発するだけではなく、保有のデータをクリックのキャリアカルテと連携することも可能です。学内の情報資源を有効活用することで、学生のためになるキャリア支援環境を実現しましょう。



三つの特徴

情報の統合・融合から、学校や学生の現状が見えてきます！

個別に存在していた情報群を統合・融合させ、それぞれの情報を絡めた分析を行なうことで、今まで見えなかった学校や学生の現状が見えてきます。学生指導や授業内容に関する改善点だけでなく、途中退学者に共通する指標を洗い出し対策を練るなど、経営的な改善テーマの分析を行なうことも可能です。

学生指導を行なう教職員の業務を強力にサポートします！

情報が共有化されることで、それぞれの部署で行なっていた業務の連携がスムーズになることはもちろん、学生に対する指導記録が蓄積されることにより、質の高く一貫性のある教育指導を効率的に行なえるようになります。システム化のメリットである、日々のルーチン業務の効率化も図れますので、従来に比べ学生への教育指導のために時間を割けるようになります。

高い連動性により既存のシステム、データが活かされます！

従来何らかの形で運用されているデータやシステムを活かして、情報の一元管理化を図ることが可能です。そのため、低コストかつスピーディに、情報統合によるメリットを受けることができます。

情報集約型のトップ画面

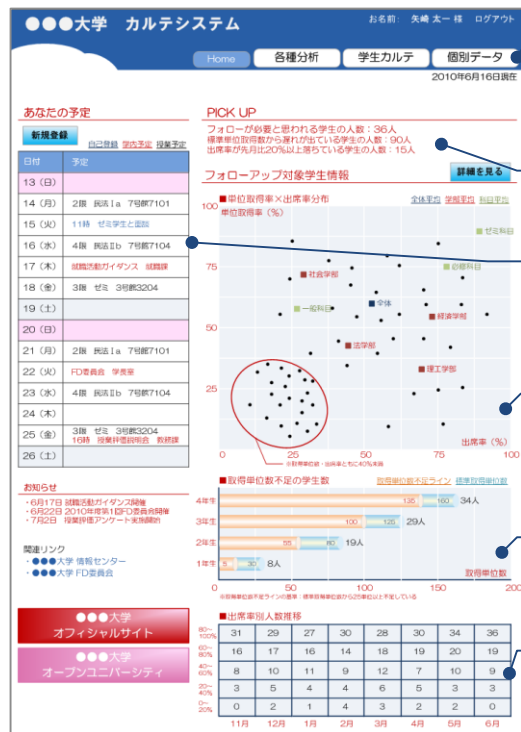
フォローアップが必要な学生を早期発見し、素早い指導対応を可能に

情報の一元管理化によって集約された様々な情報から、利用者にとって必要なものをピックアップして表示する、情報集約型のトップ画面となっています。

必要な情報がひと目で確認できるため、日々の指導にスムーズに活かすことができます。ピックアップ情報から更に詳細な情報へのリンクも素早く行なえるため、どなたでもストレスなく操作が行なえます。

計画的な教育指導を行っていくには、予定管理が欠かせません。あなたの予定を常に把握できるよう、予定管理機能も充実しています。教職員の多忙なスケジュールの中で、最も重要な学生への教育指導に時間を割けるよう支援します。

イメージ図



- <各種メニュー>
 1. 各種分析
テーマに沿った分析結果をリアルタイムに閲覧できます。
 2. 学生カルテ
各種の検索条件を指定し、学生の詳細情報を閲覧します。
 3. 個別データ
個別のデータを閲覧できます。
- <PICK UP>
指定した条件に合致している学生の人数を表示し、気付きを促します。
- <あなたの予定>
直近二週間の各種予定を表示。新規登録ボタンから登録、修正が可能。学内行事などの情報は自動で表示されます。
- <単位取得率×出席率分布>
学生の単位取得率と出席率を掛け合わせて分布を表示。ドロップアウト予備群の早期発見ができます。
※両項目ともに40%未満の学生を特定できるよう設定しています。
- <取得単位数不足の学生数>
学年ごとの標準取得単位数から選れている学生人数を表示。対象学生のカルテ情報が素早く見ることができ、早期対策へと繋がります。
- <出席率別人数推移>
月ごとの出席率推移を表示。学生の出席状況を把握できます。

各種分析機能

各種分析で新たな課題の発見や学生の傾向把握を実現

各種分析は、それぞれ個別に存在していた情報を互いに絡めて分析を行なうことで、情報を「可視化」するためのものです。

学生生活における様々な活動記録(成績や出欠、課外活動など)を絡めることにより、従来は見えなかった新たな問題を発見することもできます。

さらに年々蓄積されていく情報を分析することで、理想的な学生生活の傾向と大学教育との関係を可視化していきます。

学生カルテ機能

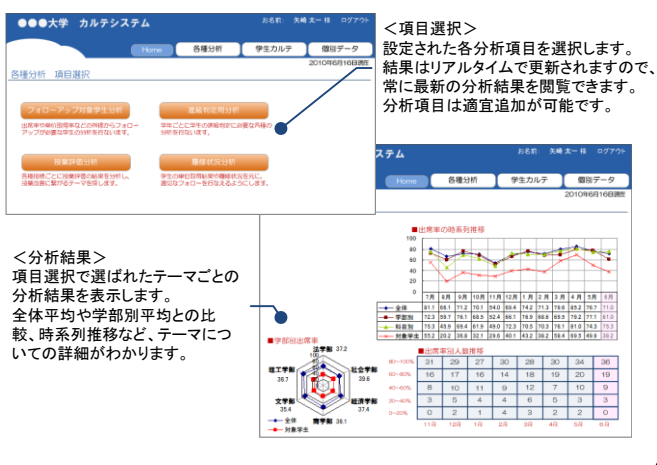
学生カルテで質の高く一貫性のある個別指導体制を確立

学生カルテは、学生ひとりひとりに対して最適な指導を行っていくためのものです。

学生の現在の活動状況や過去の履歴、将来の希望などが閲覧できるため、学生に最適な指導を行なうために欠かせない材料となります。

更にカルテ情報の全学的共有によって、教授や職員が変わっても、常に一貫性のある指導を行なうことができます。

イメージ図



イメージ図



<カルテ画面>
対象学生の各種詳細情報が閲覧でき、学生情報を全学で共有することができます。

活用例1

教員・教務課 学生の定着化フォロー

授業についていけない…、コミュニケーションがうまくとれない…など、せっかく入学した学生が休学・退学してしまう理由は様々です。学生の履修や出席状況から、休学・退学になりそうな状況を把握し、教職員が連携してその学生に必要なフォローを適宜行なうことができます。

活用例2

教務課 単位不足の学生へのフォロー

授業の履修登録時期の前に、学生の取得単位状況を把握。単位不足気味の学生をピックアップし、個別に不足単位を補えるようなカリキュラムを作成などのフォローアップを行なうことができます。実際の履修登録状況も把握できるため、単純な登録忘れに対するフォローも行なえます。

活用例3

就職課 内定率の高い学生の行動分析

内定率の高い学生はどんな学生生活を送ってきたか、どんな就職活動を行なっているかなど、実際の行動記録を元に分析することで、就職内定率を高める指導のヒントが見えてきます。また傾向を掴むことで、就職に関する指導を入学時から一貫して行っていくようになります。

活用例4

学生相談室 学生面談後の効果測定

学生カルテの情報を元に、面談での指導内容を高められるだけでなく、学生との面談を行なった日を起算として、出席率など学生の行動がどう変わったかを、追っていくことができます。学生の行動記録を追うことで、更なるフォロー面談が必要かどうかも見えてきます。

キャリアカルテシステム導入の効果

●導入前

1. 各種情報がそれぞれ個別に独立して存在しており、それぞれの情報が十分に活用されていない。
2. それぞれの担当部署がそれぞれの学生に対する情報を持っており、全学的なフィードバックがなされていない。
3. 個別の学生についての情報把握が困難であり、積極的な参加意思のある学生以外への教育指導や学内支援が不十分となっている。
4. それぞれの情報が分断されているので、何か問題となるテーマがあっても、それを抱える学生像を捉えられない。
5. それぞれ個別にシステムが存在しているので、使い方を覚えにくく、不便さを感じている。

●導入後

1. 各種情報を統合管理するため、成績や出欠と課外活動を絡めての分析など、複数の情報を絡めた情報や分析が行なえ、**情報を「可視化」**することができます。
2. 情報の一元管理により、それぞれの部署が持っていた**情報を全学的に共有できます**。部署ごとに必要のない情報については、閲覧制限もかけられます。
3. 学生生活の中での活動記録が蓄積された学生カルテを見ながら、**個別の学生に合わせた一貫性のある教育指導や学内支援**を行なえます。
4. 各種の情報を組み合わせることで、**問題を抱えた学生を早期発見**し、的確なフォローアップを行なうことができます。
5. 直観的な操作で、必要な情報に素早くアクセスできるため、**誰でも簡単に利用できます**。

基本機能と概算費用

●基本機能

入学前から卒業後までのデータを一元管理
・学生基本情報管理 ・入試管理
・成績出欠管理 ・履修管理 ・就職管理

●開発費／運用費

開発費：180万円～
運用費：月額20万円～

※詳細な金額は、運用環境や機能等により変動いたしますので、構成をお伺いして別途お見積りとなります